夕刊 磐城新聞
四月二十三日發行
定價 一ヶ月金六拾錢 一部金五錢
發行所 磐城新聞社
〔日曜祭日翌日休刊〕

嚴愛の子女教育

(14)

古河炭鑛勞働係主任 前松佐嘉

元來賞罰に感情をさしはさむは大禁物で如何なる場合でも聰明なる理智の判斷に基づき事の是非をはつきりと考へた上で徐ろに處決すべきであります、然しその態度が煮え切らない時は無效に終るばかりでなく却つて母親の威嚴を損する事となります、でありますから若し罰することが正當だと思はれる時は骨髓に徹するまで罰するがよいと思ひます、何處の家でも母親の命令はきかないものとされて居りますが、之はその態度が煮え切らないからで詰り不徹底の叱り方をするからであります。例へば前日に許したことを今日は制し今日制したことを明日許すと言つたやうな煮え切らない態度では決して親の命令に從ふものではありません事の大小を問はず一たん不可ないと言つたことは何處までも不可ないで貫し、又一たん命じたことは徹頭徹尾實行させるといふ風に親自身が判然した態度を示さねばなりません。所が多くの母親を見まするに、この點に頗る曖昧な所があります。否實を言へば親の方から何時も命令を破棄し、或は約束を違へて居るのであります。詰り言ふことを聽かない様になつた原因は親自身の不德にあると申さねばなりません。十四、五歳までの子供は存外服從性の強い者でありますから親の態度よろしきを得れば易々として命令を守るのでありますが、併しそれが思ふやうにならないと云ふのは全く親の態度が煮え切らないからであります

然らば何故さうなるかと申しまするに、それは母親の共通性として理智よりも感情が鋭くはたらく爲に無意識の間に愛に溺れるからであります、父親はこの點の缺陷は比較的少いやうでありますが母親に於ては殆んど免れがたい弱點の様であります。故に母親に對して愛の上に嚴を加へよと云ふは、この點に深く考へる所があるからであります。古への諺に『可愛い子は棒で育てよ』とありますが棒で育てるとは硬教育を意味したもので、意力の養成の時に大痛棒、大折檻が必要なのであります『憎んでは打たぬものなり笹の雪』可愛ければこそ折檻するのでそこに眞の情愛があるのであります

佛國のナポレオン第一世の母はまことた賢婦人であつたと云ひますが彼女はナポレオンの教育について次のやうな事を物語つて居ります

私は母となつてからは全力を注いで子供の教育に從事し寺參りの外は殆んど外出はしませんでした それは姑も夫も我子に甘すぎて子供が少しでも泣聲を出せば直ぐに駆け出して之を慰め或は撫でさすりして子供の機嫌ばかりとるからであります

磐新歌壇

磯上六花

○涙もて仰げば遠し冬空の星も悲しやおぼろ夜にして

○オリオンの光は冴えてほの青く君が姿の匂ふ美しさ

○濡れ羽なる黑髮あげて袖長き乙女ぞ巷に初春をことほぐ

○名も知らぬ ぼれたる實の赤くして枯れふす野邊はわびしかりけり

○みやさしき君にてありし愛ぐし兒をあやしゐまさむ姿思ほゆ

潮聲

通巻 赤羽松堂謹選

香煙のたゞよふ春の灯りかな 文狂

涅槃會の鐘にきゝ入る吾なりし 一夢

足裡の黑き寢釈迦でありにけり 武門

春の灯や柴の折戸の奧深く 晩霞

春の灯の香爐とならぶ小佛壇 森里

春灯に古刀の燒刄すかしけり 守穗

涅槃會や法衣を煽る花の風 耕影

せゝらぎに春灯亂れ流れけり 石城

現代詩歌の潮流

中

播間重勝

立場は現在の短歌一般であり、內容的には封建的色彩に一貫した觀念形態の粉飾であり、全くの形式主義である

その代表的な表出の方法はかの詠歎である。反之後者の立場は短歌を現代文學として見直して行 短歌革新の運動である

短歌形式はその表出の方法、題材の範圍をも規制して來た、まさに形式が內容をひきづゝて來たのであるだが藝術家は彼が當面してあるもつとも緊切な問題を表現するのが正しいとするならば、歌人も亦彼の直面する現實をその內容に適する形式に於て表現しなければならぬ。然も實際の歌人たちが現實に對する態度はこれとは逆である、例へば東京を歌ふ短歌が如何に非東京的であり、反都會的であるかは容易にうなづかれることである。我々は短歌を現代の現實へひきもどすのである、そしてその結果短歌の『三十一音律詩形式』が長い封建の夢から解放せられて碎け散るならばそれはさうさせておこう。で此の形式が既に崩壞したならば、それは『短歌』では無いか。我々は答へよう、短歌の文學的特殊性をして現代文學としての地位にまで發展させ繼續させて行くものは『短歌』と呼んで差支へないと。これこそ我々の持つべき現代の短歌なのである

歌壇の潑溂さに比して詩壇は又何と物足りない不健康なところであらう、日本の詩壇は『詩壇』と稱して文壇や劇壇と抗對し得るだけの內容と力とを完全に失つてしまつた樣である

かの自由詩華やかなりし時代の詩人たちは完全に沒落して行つた何故であるか彼らは詩の文學としての特殊性を知らざるが故にまた彼等は現代の現實へは眼をとぢてゐるが故に。そして彼らは詩の形式については無智であるが故に

秋の書

古村徹三

ころころ咳する
母さん かいな
からから稻こぐ、音かいな

しづかに匂ふは
木犀 かいな
いんま啼いたは、[illegible]かいな

解けない、算術
あきあき してる
勉强なんか、まあ いゝや

とほい聲だな
ともだち かいな
遊びにゆきたい、僕かいな

入社の辭

岡崎光一

陽春四月、花は綻び、鳥は歌ふ

櫻樹の下、酒杯を重ぬる快なる可く、天女のそれにも見まがふ美妓の舞も亦快なる可し

今や世を擧げて歡喜の中にある時、小生幸ひに席を磐新社の一隅に得たるは身に餘る光榮なり

爾今、粉骨碎身職に當らんとするも、淺學菲才の身を以てしては、如何ともする能はざる可く

乞ふ、讀者諸彥並びに同業先輩各位の御指導と御訓育を

社會の今日

4月24日

△露人蝦夷侵冦(文化四)△石淸水以下八幡大菩薩を八幡大神と稱せしむ(明治元)△始めて普く種痘を行ふ(明治三)△軍人勅諭奉戴五十周年記念祝典擧行、陸軍省で民間の軍人功勞者百五十餘名表彰△インド國民會議大會、列席者全部逮捕さる△ドイツ各洲議會選擧擧行(昭和七)△閑院宮殿下の臺臨を仰ぎ第二十八回大日本蠶糸大會及び功勞者表彰式を東京で開會△イギリスデンマーク間の通商條約調印(同八)

○

ひき舟の簑笠すがたとほく消ゑて、春雨けぶるなか川の水 佐々木信綱

黃楊の花低き垣根に人戀し 英子

講談 浪人長屋 (69)

日岐武志作 月草道子畫

相模屋甚兵衛

『あゝ暑い暑い、今年はまたなんだつて、こんなに暑いんだらうこれ助どん、表へ水をちやん〳〵と撒きな八どんは居眠りをしてゐるぢやないか、暑いときにやちやんちやんと威勢よく働いた方が、却て凉しくなるものぢや』

暑い日盛りを、そゝくさと外から戻つて來た相撲屋甚兵衛、白毛頭に不似合なほど大聲で、店の者に世話をやくのだつた。

甚兵衛は、裾の白埃を拂つて上へあがると、手拭で皺だらけの日に燒けた顏を拭つた

女房お信は帳場から顏をあげて

『お歸んなさい暑かつたでせうすつかり脫ぎかへなされ』

といひながら立上つて、甚兵衛のあとから奧へはいると、甚兵衛の背中の汗を拭つてやり、洗ひざらしの浴衣を着せかける

『話の向きは、どんな樣子でござんしたえ』

お信は、澁茶などくんで甚兵衛がくつろぐのを待ちかまへたやうに訊ねた

『さい、それがの……』

甚兵衛は、莨をすぱり吸つて

『どうも、先さまのいひ分は、前とちよつとも變らぬでなう』

ぼさりといつて、莨を吸ひつゞけた。長いこの年月の苦勞をものがたつてゐるやうに、額の皺が深く刻まれてゐる

『ではやつぱり、お園をどうでも嫁に欲しいといふんですね』

『先方が一人ッきりの相續むす子なら、こちらだつて今ぢや一人ッきりの後取り娘だ。どつちかをれて出なけりや到底まとまりつかねえ話だ。といつてこつちがをれて出なかつた日にや三百兩の催促に每日攻めたてられねばならねえし、あゝ困つたことぢや』

といつて、ためいきを洩らした

東兩國の小間物問屋、太田屋淸兵衛から、三百兩といふ借金を背負ひこんでゐた

打ちつゞく不景氣に三百兩の內金はおろか利子さへも滯りがちな今日このごろ相模屋ののれんも廢つたと人の噂によるのが甚兵衛にとつて何よりも辛かつた

品物は抱きつきりで賣れ足はつかず、おまけに永年の得意先でさへも不景氣に祟つて拂ひしぶる有樣、土用といへばすぐ秋だ、ぽつ〳〵冬物の仕入もせにやならぬ。といふても先立つものは金だ、あゝ困つた〳〵と、思案に考じ果た矢先太田屋から他人を介して耳寄りな話が飛びこんで來た

話といふのは——

太田屋の獨り息子淸吉がふと甚兵衛の孫娘お園——甚吉とお秋の間に出來た——そのお園を一目見染めて是非あれをといひ出した

獨りむす子のいふことだ淸兵衛はさつそく他人を介して、話を持ちこんで來たものだつた。がこつちも大事な後取り娘だ。伜甚吉さへ生きてをれば二つ返事でくれてもやるが今はさうはいかぬ

『太田屋さんのことですがそれはかりはくれられませぬ』

と使ひの者をきつぱり斷つた

すると今度は證文の三百兩はそつくり棒引にした上興入れの調度萬端一切合財を當方で持つから是非にと念の入つた申こみである

これには甚兵衛夫婦もぐつと考へこんでしまつた、三百兩の棒引はうれしいが大事な後取りの孫娘を手放したくはなかつた。甚兵衛夫婦の腹では、番頭の仙吉か吉三をお園にめ合せて相模屋ののれんをつがせようと思つてゐたのだ

『やくざ者だとて甚吉さへ死なゝけれは、どんなにたすかるか分らない』

生きてゐるとは、未だに知らぬ甚兵衛夫婦は今更に甚吉を思ひ出して口惜がつた

公園が花でかざれば
カフエー松ケ岡は
女給でかざる
料理自慢のうでに[ヨリ]をかけた店主が營業の責任を引受ます
また花よりダンゴと云ふこともある
見斗ひ一品卅五錢以上は斷じて戴きません
是非御立寄下さい御待ちして居ります
カフエー松ケ岡
研町通り公園入口 電話(呼出)四四三番

營業所移轉廣告
從前タクシー及トラツク營業格別御引立に預り難有御禮申上候、今度營業所を左記へ新築移轉なし營業の合理化策としてトラツク營業單一擴張なし一意專心努力なす可候間何卒舊に倍し御愛顧の程願上候
隨つてタクシー營業は當分の間休業仕候
四月十八日
白銀町十番地
松崎自動車商會
電話三九二番

永い間車輛不足で皆樣に御不便を御掛け致し申譯御座いませんでした。今度增車許可を得ましたので
新車を購入致しましたから是非御下命下さい。なほ松崎タクシー部を讓受けましたので新車を購入し皆樣の御氣に召す樣致します。車は最上とは申上げ兼ねますが『堅實第一』の營業方針と
不二タクシーの名を辱めぬ樣從業員一同努力致します故何卒倍舊の御愛顧の程御願ひ申上ます。
平驛構內並ニ貸切專門 不二タクシー 電話三二番

●フレツシユな若人向●
ポプリンワイシヤツ
●ポプリン、ベンベルグ絹、新柄特製品●
●淸新な襟付アウテングシヤツの秀逸品●
●春の逸品 ショール パラソル 陳列
中野洋品店 平2 電53

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

御花見の御催し
宴會等の節は
敷物、幔幕等準備致し置ますから大小に不拘御用命の程を御待ちして居ります
折詰の御註文は特に勉强致します。
公園內
割烹 尼子亭
電話二三〇番

貸切り
專門優良車
乘心地の超特快適な三四年型フォード着
何卒御用命願ひます
平町四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

謹告 磐城家庭婦人會
皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ました。どうぞ御試用下さいませ。御願申します。
◎親切 迅速
會員 御希望の御方は何時にても御出で下さい(年齡は十八才以上五十才迄)
石城郡平町田町五番地(元郵便局裏)
駒井ヒデ
(電話呼出三九九番)

美しい
花の種子
每度御好評をいたゞいて居ます。橫濱植木會社の輸出向き特選種子です。『草花種子の蒔き方』を上ます。巨大輪七寸咲朝顏の種子が參りました。
西村屋藥局種子部
平2・電3

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい……
直に家政婦を派出します。
親切丁寧… 料金は極めて低廉です
姙產婦の御家庭 お留守居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や雜用
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話呼六五二)
上原家政婦會
會主 產婆 上原通子

感じの良い！
客に親切な……
藥種賣藥、工業藥品
衛生材料、各種染料
化粧品、其他
阿部藥舖
平・田町(松月堂向)

月曜論壇

町税當局に望む

目下各町村に於ては本年度分特別税戸數割の賦課に關し各納税義務者より所得額申告及控除申請書の取り纏め中で、法定期間たる本月末の切迫と共に各區長等は一層督勵の度を加へつゝあるも例の如く進行遲々として、之が提出を懈るが爲に折角の恩典を附與され乍ら、老幼不具癈疾に對する控除を受けられぬに至るものが今年も亦決して少なからぬ模樣である

〇

由來各納税者が兎角此種の申告を懈怠する所以のものは職として其の手續きが日常生活の匆忙なる民衆にとつて餘りに煩瑣に過ぎ之が爲若干の負擔過重を意識し乍らも尚ほ之を放漫に附する向が多い半面、從來當局が義務者の申告に對して徒に細故の檢覈に沒頭し、些々たる數字の補正によつて申告以上の增徵を敢てし民衆をして申告の實際的効果を疑はしめたのも其の一因たるを否めぬものがある

〇

此種の謬想が驅つて以て申告の不成績を齎し當局民衆の兩者間に大なる溝渠を生じ旋て税務の圓滿なる遂行を阻害するに至る事は云ふ迄も無く即ち國税方面に在つては夙に此點に鑑み、第三種所得税乃至營業收益税の如く原則として義務者の申告に其礎を置くものに對しては税金の逋脱を目的とする虛僞捏造に亘らざる限り成る可くその申告を是認尊重し之によつて決定の方針に出でつゝあるものゝ如く、所謂苛斂誅求を以て能事畢れりとした昔日の態度から完全に蟬脱されたは既に眼前の事實に徵して歷かである

〇

吾人は少くとも所謂强制稼斂の性質を知るものとして當局に於ける財源捻出の苦衷に對して其の理解を缺くものでは無いが上述の觀點から申告の是認が必然的に向來の申告を多からしめ該制度の趣旨に副ふ所以なる事を當局に進言して措かぬ

櫻 櫻 全園咲きも殘らず 散りも初めぬ美觀

昨日曜の超沸騰お花見氣分

前日の雨に洗はれた彌生の天地はまたなく清新である。慈雨と云ふには分量に於て些か過ぎたが其れでも花を叩き付ける迄には行かずしつとりと水氣を含んだ萬朶の花は煕々たる春陽に映えて一層の濃艶さである、天は霽れて花は見頃、昨二十二日の日曜日こそは今年第一番のお花見日和。老、幼、男、女！の潮の如き總進軍に『春はいざ花見にごんせ松ケ岡』は朝來春を享樂する無數の人によつて埋まつた

片倉娘子軍の濃艶なマスゲーム

大小二十數團体中 異彩を放つた餘興の數々

研町の正面口と踏切り傍の古鍛冶口とから蟻の如き人群れが園內に雪崩れ込む午前十時半頃前日の雨に計劃を今日に持ち越した片倉磐城製糸數百名の從業員は白の上衣に短いスカートを着けた制服の女學生を見るやうなのと、燃ゆるやうな眞紅の長着に花笠を背負つた二組の娘子軍に白粉で顏を塗り潰した厚化粧のヱロ（男子）多數が交り劉喨の音樂隊を先頭に表坂から繰り越み池畔に裝置した擴聲器から高らかに流る歌詞の快調に最初制服組のギッチョンチョン、次ぎに赤組の伊那節踊り、木曾節踊り、櫻音頭、東京音頭と廣場の半ばを占むる大圓陣の一糸紊れぬマスゲームに觀衆は十重二十重の人垣を造り大多數の人達は群がる人の肩越しにすらこのさす手ひく手のいみじき大行進を見る事が出來ぬ程の大人氣を博し午後二時頃茲に片倉年一度のカーニバルが無事濟んだのを筆頭に此日の大小團体實に二十有五、中に高野警察部長其他を加へた水戸市縣政記者倶樂部の一園など遠來の組も少くなかつた

水戸市一行

卅一名自動車で

高野茨城縣警察、松木學務兩部長、同警部井上久一、縣議二田籌諸氏其他合計三十一名の一行は昨廿二日午前勿來迄の自動車旅程を延長して公園に乘り込み盛大に開宴午後歸縣した

喧嘩三組と 檢束一迷子八

昨公園の警察事故

昨日中公園內の警察事故は喧嘩三件、暴行檢束一件、迷子は八件の多きに上つたが何れも夕刻迄に判明した

去年より多い人出

花に反映した景氣好轉

尙同驛に於ける去る十七日以降昨日迄の乘降は

	乘	降
十七日	三、一八〇	三、二七三
十八	三、四七〇	三、五九九
十九	三、二五四	二、七五四
廿	四、二五一	四、一〇九
廿一	二、五五七	二、六一〇
廿二	五、二七九	五、四九一

の合計四萬三千八百十七名し、これを昨年同期間內の乘一萬九千二百二十四名、降一萬八千六百二十三名、合計三萬七千八百四十七名に比すれば五千九百七十名の增加、尙昨年の最高潮は乘降九千五百九十五名であつたが今年は昨日の一萬一千二百四十名でこれ亦千六百四十九名の增加を示し此處にも景氣好轉の影が映じて居ると

降客實に六千名

此日の平驛と假ホーム

此の日の平驛は（驛扱ひ）降五、四九一名 乘五、二七九名 合計一萬七百七十名で臨時第一車午前十時二十四分の三百餘名を皮切りに午後二時二十九分、同五時三十九分の三回に亘つた公園下の假ホームへの降車合計四百七十名を併せ總計一萬一千二百四十名が吞吐されたわけである

。。。。小荷物係觀櫻 平小荷物係では明廿四日午後六時から松ケ岡公園で觀櫻會を催す

。。。。四倉セメント園遊會 來る廿八日新舞子海岸で

廿七日來平の 大津平潟團体

一行百五十名

茨城縣大津、平潟兩町主催の醫師、町村吏員、各小學教員團百五十名は來る廿七日午後來平、松ケ岡で

發車直前の車丈け 路上停留を認容

哀れな平湯本間乘合業者

交通上の關係から平驛前を追はれた平、湯本間乘合自動車は其筋の取計ひで其後田町三二三屋肉店前に假停車して居たが最近車庫建築迄の期間が切れたのに拘らず其儘となつて居るので再たも其筋からの嚴達を受けた爲同業者合議の結果現在の車庫ヶ擴張改築道路側へは發車直前の車のみ停車する事になり目下工事を進めて居る

水鐵管內業務協議

來廿七日平町で

水鐵管內通常業務協議會は來る二十七日午前十時より住吉屋本店に於て中村水戸運輸事務所長臨席水戸綴間赤井、小川郷間各驛長平各課主任等四十名出席開催すると

地下採掘反對理由答申協議

來廿六日方針決定

磐炭出願の大規模な平町地下採掘問題は屢報の如く仙臺鑛山監督局から技術的根據ある反對理由再答申を迫られて居るのでさきの町會に於て井上議長以下の調査委員を擧げたが愈々來る廿六日午後一時から第一回委員會を開き種々今後の方針其他を決定する事になつた

磐炭軍連勝

對揚土高月野球戰

磐炭對揚土（平商）の野球戰は昨廿二日午前十時から高坂グラウンドに開き十三對九、同鑛對高月は午後一時から同所で開き十一對二で何れも磐炭軍捷つた

。。。。根本氏寄附 平町根本房治氏は去る二月平町小學校基本財產として百圓を寄附此程褒狀を受けた

農銀支店事務監査 農工銀行平支店の事務監査は鈴木夏郎治、伊藤武壽兩監査役により明二十四日より三日間位執行されると

補助增額要請協議 炭界好轉による坑夫子弟の激增から磐炭へ對し九年度教育補助金一萬五千圓（從來八千圓）を要求した內郷村では今廿三日午後一時から同村御厩小學校に村民大會を開き決議、交涉委員を擧げて明廿四日炭鑛側と正式會見する事になつた

役場模樣替へ 工費千五百餘圓で過般來工事を進めて居た平町議事、擴張（十二坪）議長室、記者室各四坪の增築工事は愈々此程竣功、尚町では現在廳舍西端にあつた新聞記者室を改築（六坪）これを町長室に更に町長室を助役室に當てる事になり昨廿二日から改築工事に着手したが竣功は今月末頃であると

酒井、山川兩博士講演

來月六日郡醫師會が主催

郡醫師會では來月六日午後一時から平町常磐銀行樓上に於て學術講演會を催すが講師左の如し

東北帝大教授醫學博士山川彥太郎、東京市衛生課長同酒井菊雄

平町立青年分團巡回文庫 平町青年分團では團員の智識向上を圖るため此程巡回文庫を設け一人十錢宛を醵出有益な新刊書籍を購入好成績を收めて居ると

。。。。傭人試驗合格者 過般執行されたる水戸運輸事務所管內の傭人資格試驗の合格者百十四名は此程發表されたが內中等學校卒業者二十七名、專卒八、高卒六十八名、其の他十一名であると

春！氣は緩む

平驛の遺失物から觀た昨今

春の遺失物增加は今に初めぬ事であるが平驛扱ひに係る四月に入つてからの數は昨日現在で風呂敷包み、帽子、洋傘、下駄、ステッキ書籍、辨當、其他襟卷など早くも平月の約二倍に當る百十七點に上り慕口三個の中には手の切れる樣な十圓紙幣の交つて居るなど春の浮かれ氣分を遺憾なく發揮して居るが遺し主は待合室の掲示を見て申出られたいと

。。。。澤村神社祭典 草野村の

同社では一日賀藏庫竣功式と併せ執行する

。。。。戸籍吏講習會 平町役場主催郡町村戸籍吏講習會は明二十四、五の兩日平第一校講堂で開かれるが講師は平區裁判所中島判事、小野書記である

平署管內衛生日割

平署管內春季淸潔法日割り左の如し

（第一方部）神谷—五月一日、夏井—二日、飯野—三日、高久—四日（第二方部）內郷御厩、綴—五日、磐城炭鑛、綴、宮、高坂、竹の內、白水方面—六日（第三方部）湯本三函、上町—一日、入山炭鑛四坑、八仙—六日磐崎—三日、小野田炭鑛—六日（第四方部）玉川—五日、小名濱—六日鹿島—四日、江名—二日、豐間—三日（第六方部）平窪—三日、上下小川—一日、赤井—二日、好間—四月廿八日（方面外）平町東部—五月五日、西部—六日、澤渡—七日、三坂—八日、永戸—六日、箕輪—五日

尚福島炭鑛、小田炭鑛、古河炭鑛は未定であると

宇部炭田に於ける炭礦聚落の漸移機構 (11)

山口彌一郎

當五ヶ村（註五ヶ村とは現在の大字にて沖宇部、中宇部、上宇部、川上、小串を言ふ）石炭の義は地方の一大產物にして此地方の事業の消否は地方財政の消長に關するは今更吾輩の喋々を竢たず。之が事業に注目し其利源を永遠に維持するは地方銘々に於て共に忽諸にすべからざる要務と言ふべし。而るに舊來の慣習に因し未だ進んで計畫を謀議するもの稀なりしも時勢の變遷により、今や所在坑主は自己の營利に趨り、甲乙相軋し、丙丁相競ひ徒らに採掘に汲々として地主の福利を顧るに遑あらざるは自然の勢にして之がため貴重な產物を一朝奸商或は他人の手中に掌握せらるゝに至る。吾輩と感を同じうする者あり、各自坑區を一にして協力同心、永く此の福利を機能することを謀れり諸君も亦吾輩及び同志と共に此の議に贊成あらんことを希望す

明治十九年十一月廿六日

當時一、二〇〇餘戸の村民は欣然贊同し、村內石炭礦業の利益を一私人にて壟斷することなく協力一致以て斯業の堅實な發達を期するに至つた。福原家も之れが成立を援助し、所有九礦區を同會に讓與し、同村民も亦各自の地主權に附隨せる礦區先願權を擧げて同會に一任し、依つて福原家よりの九礦區一三三、八〇〇坪の外一四礦區二、四〇五、七二四坪を併合許得し、濫掘を制して需要を調節し、關係地主と圓滿なる融和を計り、一面に於ては子孫に永く稼行せしむべき計畫を立て、村民に斤先制度を以て稼行せしめ、業績大いに擧がつた

明治二十三年礦業條例發布せられ、礦業權の許可は地主に關係なくなり、他村の人の出願者が續出し爲めに大混亂を生じたが、同會は所有の礦區に對して引續き斤先制度を以て事業を經營し、大正五年夏に至り採炭に關する事業は全く終了し其資金に依つて地方發展に資した事は實に大である

銳利な短刀で賭博相手を突く

昨夕豐間で漁夫の喧嘩

豐間村大字薄磯字北町漁夫志賀淸治（三九）は昨廿二日午後五時頃同村字山の下地內に於て字中町漁夫鈴木福太郎（三九）と賭博から口論の末所持して居た双渡七寸餘の短刀で福太郎の背中を突きさし瀕死の重傷を負はせ目下平署で取調べ中

悉く幽靈書類で公金を引き出す

金澤元書記罪の全貌

本籍福島市腰の濱霞內前四元四倉港修築事務所勤務縣士木書記金澤四郎（三三）に係る公私文書僞造變造行使詐欺事件は此程豫審終結し平支部の公判に付されたが事件の內容は

昭和七年九月十五日より同八年十二月十一日迄庶務並に會計事務一切を擔任中遊興費等に窮した結果虛僞の支拂命令を發行して平町縣文金庫から金員の騙取を企て、七年十一月頃から八年九月頃に掛け前後十四回に亘り他人名儀の物品代金十四通、六百七十九圓二錢を受領騙取した、八年九月二十五日所長が發行した十圓の支拂命令書に千の字を加へ改竄變造して金庫より千十圓を受領、その犯跡を隱蔽のため九月分の支拂證憑書類の合計金額を金千圓增額せんと十月中その頃某々から提出した署名捺印ある所長宛の受領證七通の記載金額百圓未滿に對し各金額欄に百の字を加へ變造し、尙金九十七圓六十錢の一通を僞造し支拂證憑書類中に編綴して十一月頃縣內務部會計課に一括送付行使し、更に八年五月十一日保管中の所長印鑑を不正使用し百六十八圓の支拂命令書二通を僞造合計三百三十六圓を騙取、その犯跡を隱さんと三百三十六圓の僞造受領證を證憑書類とし縣內務部會計課に送付行使した、八年十一月十一日頃から十二月二日頃迄約十回に亘り關係商人五人の名儀を冒用し物品代金十通合計金額三百九十一圓二錢及び之に對應する受領證十通を僞造その都度之を所長に提出誤信させた上請求書に相當する支拂命令書を發行させ支金庫から三百九十一圓二錢を騙取、總計二千二百三十八圓四錢を詐取し客臘九日突如退廳し郡山市虎丸一九〇に閑居中去る二月二十日平檢事局に自首し出で三堀檢事係り取調べの上豫審に回付されたもので去る三日保釋を許され小名濱町本町五金澤勉方にあつたが現在は實兄の仙台市東三番町一一金澤末丸方で裁きの日を待つてゐると

第五徵兵署學術調查員

第五徵兵署管內壯丁學術檢査は既報の如く各檢査前日午後一時から施行されるが此程教育成績調査委員に左の各氏が囑託された

篠山平第一、津田第二、吉田好間尋高、坂內飯野各校長、菅波平第一、金澤第二各首席訓導

。。。。エロ教師に五十圓 双葉郡浪江町大字權現堂字町揚九五柔道教師佐藤淸之助（三二）は昨年八月頃から去る三月二十五日に掛け前後四回に亘り同字五〇大須賀トモイ方外二名方に住居侵入し略式罰金五十圓に處された

結核豫防宣傳 一昨二十一日より五月五日までの間全國的に施行される第十回全國結核豫防週間に平驛では明後二十五日檢車修繕場屋上にて活動寫眞平治療所主任山中醫師の講話等がある筈である

乳房で壓死 平町三丁目二一菓子商島崎政久妻トメノ（三七）昨廿二日午後九時頃長女洋子（一）を添寢中乳房で窒死せしめた

二十四日
日出 四、五八 月出後 一、〇五
日沒 六、二一 月沒前 一、五四
滿潮前 一、二〇 干潮前 八、五〇
後 一、二五 後 八、二〇

新四月二十四日 火曜 乙丑 先勝 收 觜宿 舊三月十一日

諮判定鑑需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部

▲一白の人 戰陣に臨んで成命奏卒に及び勝利を得る日▲二黑の人 事業に可否なく平凡に終る日病災怪我注意▲三碧の人 無謀の企てなせず窮乏にも無理せぬが安全▲四綠の人 氣運衰退すれども悲觀を止めて定業を勵め▲五黄の人 失策を挽回せんと焦れば更に失策を繰返す▲六白の人 眞面目なれば氣運も良好に伸長するか見る▲七赤の人 軌道を走る事も障害物の爲めに脫線す注意▲八白の人 調子づかざれば計畫も徐々に伸展すべき日▲九紫の人 盛運なれども勢に任せば成る事もさ折あり

石炭 コークス 玉炭
平驛前
阿部石炭商店
電話三七番

耳鼻咽喉科專門
平町南町一六番地
大和田醫院
（入院隨意 病室完備）
電一七〇番